

2020年8月7日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

残されたアンメットニーズに応え、肝硬変患者さんをサポートする 「STOP 肝硬変キャンペーン」を開始

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ルーク・ハーマンス）は、C型非代償性肝硬変に関する啓発活動の一環として、潜在的な患者さんの受診勧奨、患者さんもしくはそのご家族から早期の治療を希望していただき、かかりつけ医から専門医にご相談いただけるような枠組みを中心とした「STOP 肝硬変キャンペーン」を9月1日（火）より開始します。

【背景について】

2019年2月発売のエプクルーサは、国内で初めて非代償性肝硬変を伴うC型肝炎ウイルス感染症の患者さんに対し、原因ウイルス排除のための治療選択肢の提供を可能にしてきました。肝硬変治療は日々進歩していますが、周知が必要です。肝硬変、特に非代償性肝硬変は予後が不良であることから治療に緊急性を要し、肝がん・肝不全等の生命リスクが高いとされるC型肝炎患者さんにより良い治療を受けていただくために、かかりつけ医の先生に肝硬変治療についてご相談いただきたいと考えています。そこでギリアドでは治療に関わる全ての皆さんに対して網羅的に情報提供をして参ります。

【実施目的】

「STOP 肝硬変キャンペーン」は、C型非代償性肝硬変の正しい知識の普及、早期治療の重要性を啓発し、C型非代償性肝硬変およびその疑いのある患者さんが医療連携のもとで肝臓専門医に受診していただくことを目指しています。

【キャンペーンの概要】

患者さん向けの啓発冊子にはC型肝炎の病気と症状について説明されており、健康状態を一緒に確認してセルフチェックシートへ書き込むような仕組みとなっています。患者さん自身が肝硬変の正しい理解を深め、治療に対しご自身で積極的に考え、かかりつけ医へ相談するきっかけを提供します。

①薬剤師さんにはIC（インフォームド・コンセント）ツールをお渡しします。このツールにより、C型肝炎の疾患理解と薬剤の知識を向上させ、C型肝炎の疑いのある患者さんへ疾患啓発冊子を手渡し、病気や薬について説明する必要性を理解いただきます。特定の調剤薬局に導入されているアラートシステムで確実にC型肝炎疑いのある患者さんに疾患啓発冊子をお渡しできる仕組みです。

②～④患者さんからの質問を受けるであろうかかりつけ医に対してもドクター用のICツールを配布し、かかりつけ医に向けICツールでC型肝炎の疾患理解と抗ウイルス薬の知識を向上させ、専門医への紹介意欲を向上させます。

その他、e-detail を通じたエデュケーションコンテンツ、モチベーションアップリーフレット、薬局ポスターなど様々な施策を通じてメッセージを訴求します。



【キャンペーンサイト】

弊社では効果的にこのキャンペーンを周知し、治療を必要とする患者さんの発掘を後押しして参ります。それぞれの方たちに有益な情報を提供し、キャンペーン全体の情報のハブとしてキャンペーンサイトを「今できること」(C型肝炎啓発サイト <https://www.hcvcanbecured.jp/>) 内に設置し、情報提供して参ります。

【資料の紹介】

患者さん向け小冊子

患者さんセルフチェックシート

軽くみない あきらめない C型肝硬変について 知ってほしいこと



【監修】竹原 徹郎 先生
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授

あなたの肝硬変と健康状態について

C型肝硬変 相談シート
C型肝硬変の治療には新しい選択肢が増えてきています。下記の相談シートに、現在わかっている範囲でご記入いただき、現在、受診している主治医・かかりつけ医にお渡しください。

● **現在のあなたの状態** 該当する項目にをつけ、()に記入してください。

肝硬変・肝炎の原因 / 影響を及ぼす可能性のある因子 <small>※診断されたことのある原因、因子に☑</small>	<input type="checkbox"/> C型肝炎ウイルス <input type="checkbox"/> B型肝炎ウイルス <input type="checkbox"/> アルコール <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 覚えていない
生活習慣病の有無	<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 脂質異常症 <input type="checkbox"/> 脳卒中 <input type="checkbox"/> 心臓病 <input type="checkbox"/> 腎臓病 <input type="checkbox"/> その他
喫煙歴	<input type="checkbox"/> 現在も吸っている <input type="checkbox"/> かつて吸っていた <input type="checkbox"/> 吸ったことがない
飲酒習慣 <small>※1合の目安 ビール500ml、日本酒180ml、 ウイスキー40ml、焼酎35度30ml</small>	<input type="checkbox"/> 毎日飲む (1日当たり約 [] 合) <input type="checkbox"/> ととき飲み (1日当たり約 [] 合) <input type="checkbox"/> ほとんど飲まない(飲めない)
睡眠で休養が十分	<input type="checkbox"/> 取れている <input type="checkbox"/> 取れていない
気になる症状がある	<input type="checkbox"/> 倦怠感などの全身的な症状 <input type="checkbox"/> 指や爪の変化 <input type="checkbox"/> 腹水がたまる <input type="checkbox"/> 手足のむくみ <input type="checkbox"/> 皮膚の症状
<input type="checkbox"/> 意識や精神的な症状(肝性脳症) <input type="checkbox"/> 羽ばたき振戦(肝性脳症) <input type="checkbox"/> 消化管の症状(吐血や黒色便など) <input type="checkbox"/> 血が出やすい・血が止まりにくい <input type="checkbox"/> その他の症状 ()	

● **気になっていること**
肝硬変・肝炎の病気について、気になることや先生にお聞きしたいことにをつけてください。

<input type="checkbox"/> 気になる症状がある	<input type="checkbox"/> 肝硬変の病気についてもっと知りたい <input type="checkbox"/> 肝硬変の治療についてもっと知りたい
<input type="checkbox"/> 日常生活で気を付けるべきポイントについて知りたい	<input type="checkbox"/> その他 ()

2

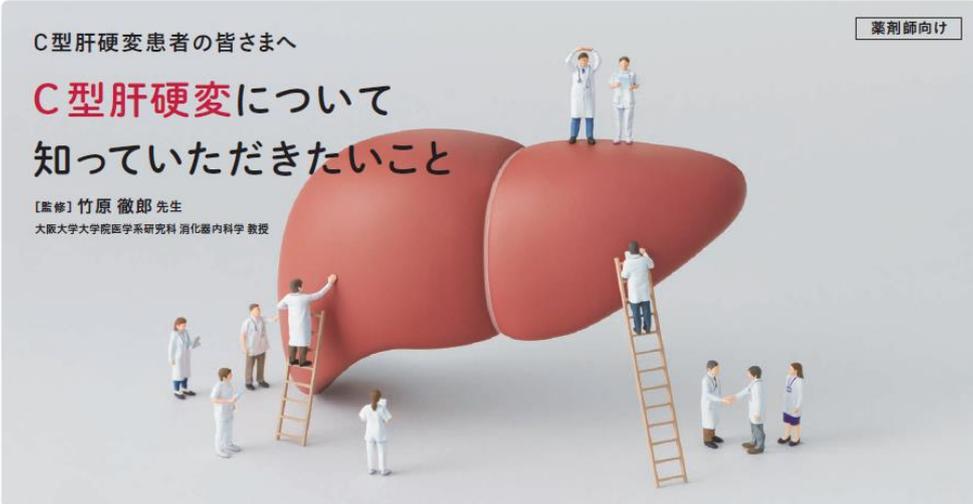
薬剤師向けインフォームドコンセントツール

C型肝硬変患者の皆さまへ

C型肝硬変について 知っていただきたいこと

【監修】竹原 徹郎 先生
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授

薬剤師向け



- 肝硬変治療は日々進歩しています。肝がんへと進行するリスクの高いC型肝硬変の患者さんにより良い治療を受けていただくために、主治医・かかりつけ医に肝硬変の治療について相談していただきたいと考えています。
- このツールは、肝硬変読本(小冊子)「軽くみない あきらめない C型肝硬変について知ってほしいこと」と連動しており、配布の際に薬剤師の皆さまよりお伝えいただきたい情報を整理しております。次ページのフローに従って患者さんに説明していただく、「あなたの肝硬変と健康状態について/C型肝硬変相談シート」(小冊子2ページ目)にスムーズに記入でき、主治医・かかりつけ医への相談をサポートすることができます。
- C型肝硬変以外の患者さんに対しても有用な情報を盛り込んでありますので、肝硬変の改善に寄与する情報としてご紹介ください。

エプクルーサはC型非代償性肝硬変を治療する国内唯一の薬剤です。将来、世界中でこの疾患を撲滅することができるよう、ギリアドではこの「STOP 肝硬変キャン

ペーン」を通して一人でも多くの患者さんに治癒の機会が得られることを目指して参ります。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズ・インクは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオフーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティーに本社を置き、世界 35 か国以上で事業を行っています。

ギリアド・サイエンシズ・インクの詳細については www.gilead.com をご覧ください。
ギリアド・サイエンシズ株式会社の詳細については www.gilead.co.jp をご覧ください。

###

お問い合わせ先：

ギリアド・サイエンシズ株式会社 広報部

E-mail: JPPublic.Affairs@gilead.com

TEL:03-6745-0850

FAX:03-5224-5270